

テーマ：生き物（第2回目）光遊び

2025年2月12日（水）ぴっころ組（0歳児）



活動内容：

前回の移動水族館で実物の生き物を見たり、これまでの個々の経験から、海の生き物にも興味を広げている。これまでに子どもが興味を持った生き物について、光を用いて水族館のような幻想的な雰囲気を感じながら海の生き物に触れる活動を行った。

子どもたちの様子：

光源や使用した玩具が初めてものだったので、活動前半は光源や玩具そのものに興味を持ち、穴からのぞき込んだり玩具を抱えたりして確認する様子が多く見られた。時間が経つにつれて活動内容を理解して、光で映し出された生き物を探したり追いかけてたりして楽しむ様子が見られた。

準備したもの

- ・懐中電灯、ライト
- ・クリアボックス（衣装ケース等）
- ・シルエットペーパー
- ・イラストカード
- ・センサーボトル

振り返りと気づき：

イラストや色に気が付き、光によって大きくなったり小さくなったり、動いたりする様子を喜んでいる子が多く、光の不思議に触れることが出来たと思う。今回の活動では光に子どもの意識が向いていたように感じたが、窓にイラストカードを貼って自然光でも楽しむなど日常的に海の生き物×光を楽しめるようにしたい。また、保育室内に生き物の写真も掲示したので一致させたり名前を覚えたりして、生き物に親しむ声掛けもしていきたい。

テーマ：生き物（第3回目）身近な生き物の観察 2025年3月17日（月）ふるーと組(1歳児)



活動内容：

絵本や紙芝居、童話でアリやダンゴムシに関心を持っている姿がある。園庭にいる生き物を探し、その動きを観察する。寒い時期であったが馴染みのあるアリやダンゴムシを見つけることができた。

子どもたちの様子：

見つけた虫はバケツに集めて、まずはそれを観察する。その次に手に乗せてみたいという子に、実際に手の上に乗せる。抵抗のない子は「くすぐったい」「うごいてる！」と興奮気味に話していた。手に乗せることはしなくても、虫の動きは見てみたいと多くの子が観察していた。

振り返りと気づき：

虫に対して乱暴することはなく、参加児は優しく虫に触れ、その動きを細かく観察していた。虫が口を開けたり、丸まっていたダンゴムシが開いたりすると、みんな近寄って眺める姿があった。園庭にはその時季ならではの虫が訪れるので、捕まえた際には動きを観察できるような機会を設けていきたい。

テーマ：生き物（第1回目）移動水族館2024年12月12日（木）たんばりん組(2歳児)クラス



活動内容：

子どもたちは絵本や図鑑を通して生き物に興味を持ち、名前や色を覚えたりしていた。部屋でブロックの魚で遊んだり、図鑑を見て同じ魚を探したりしながら魚への関心を更に高め、実際に魚を見て触れる活動を行った。

子どもたちの様子：

絵本や図鑑などで知っていた生き物を間近に見て、目を輝かせて名前を言ったり、泳ぐ様をじっと見ていた。

触れられる生き物には、そっと触り、形や感触を味わう。触れることをためらっている様子の子どもも、しばらく見ているうちに触ってみようとする姿も見られた。海の生き物に対して愛着をもっていった。

振り返りと気づき：

日常生活では、目にすることの出来ない魚や、珍しい生き物を見ることが出来良い経験だった。ネコザメの触感はざらざらなどの気づきがあり、触った時の触感に対する発見が多く見られた。子どもの関心を引き出し豊かな心を育てていきたい。

準備したもの

**手拭きタオル
図鑑**

テーマ：生き物（第2回目）

2025年2月13日（木） ばいおりん組（3歳児）

活動内容：～海の生き物の絵を描く～

移動水族館を楽しんだあと、保育室内に海の生き物や水中の生物に関する図鑑を繰り返し読む姿が見られた。移動水族館で撮影した動画や写真、図鑑などをよく見て、移動水族館を思い出しながら絵を描くという活動を行った。

子どもたちの様子：

活動を始める前からプロジェクターやパソコンなどを見て、どんな活動になるのかわくわくしていた様子。動画を流し始めると、魚について他児や保育者に話したり、移動水族館の日の事を思い出したりしていた。図鑑や写真は、近づいて何度も見て、集中して絵を描いていた。

振り返りと気づき：

移動水族館の日から時間が経ってしまったが、動画や写真、図鑑などを活用したため、思い出しながら描くことが出来た様子。実際の魚に児の想像を加えた絵、実際の魚を忠実に再現しようとした絵など、それぞれの工夫が見られた。また、プロジェクターを使用した活動が珍しかったため、興味をもち、集中して活動に参加する児が多かった。



準備したもの
プロジェクター
図鑑
画用紙
クレヨン
写真
動画

テーマ：生き物（第3回目）ミジンコを観察してみよう！2025年2月7日（金）ほるん組(4歳児)クラス



活動内容：

ミジンコについての知識を知り、本物を見てみたいという声があった。臓器についても本当に絵の通りになっているか？などの疑問が沢山あがったので、本物を観察する活動を取り入れた。

子どもたちの様子：

初めに絵本でミジンコについてをおさらいすると、色々な事を覚えている子どもが多かった。また、実際にスクリーンにミジンコを映し出すと、とても興味深く見ていたり、心臓が動いている事に驚き、知っている情報と照らし合わせたり、絵本を見ながらミジンコの種類を確認していた。更に、1人ずつ顕微鏡をのぞき込み、本物をみると声が出なくなるほど集中してみたり、顕微鏡にいるミジンコと見比べながら、色々な見方をしていた。他にも、昆虫の足や羽を小さい顕微鏡で観察をした。上から覗くだけで見れるので子ども達自身で操作もしながら取り組んでいた。



準備したもの
・顕微鏡
・スクリーン

振り返りと気づき：

事前にミジンコの特徴や大きさを伝えておくことで、本物を見た時と形や臓器の位置が一致したりと観察する喜びが生まれていた。また、絵本や絵と違うところなど更に新しい発見があり良い経験となった。更に、小さい顕微鏡を活用し、公園や園庭で植物や生き物の観察にも繋げていきたい。

テーマ：生き物

2024年12月5日(木) 5歳児クラス

活動内容：①飼育している蛹、羽化した蝶それぞれを顕微鏡で観察し生き物への興味を深める

子どもたちの様子：初めて見る顕微鏡に興味津々の様子だった。操作にもすぐに慣れ自らピントを合わせようとする児もいた。肉眼では見えない細かな模様や色に気づいたり、図鑑と照らし合わせ「これに似てるね！」と他児と言いつつ姿もあり、顕微鏡ならではの気づきや発見があった。その後は園庭遊び等にも活用し、髪の毛や靴、ダンゴムシなど様々な物を顕微鏡で拡大し楽しんでいった。

振り返りと気づき：顕微鏡での活動に意欲的に取り組み、園庭でも色々な物を拡大して観察する遊びに発展していったことは良かった。観察した蛹は年が明けても羽化せず、残念ながら蝶の観察を行うことは出来なかったが、生き物や物の細部を観察することの楽しさを味わうことができたと感じる。今後も遊びに取り入れながら子どもの興味関心を引き出していきたい。



準備したもの

- ・顕微鏡
- ・図鑑
- ・プレパレート
- ・飼育している蛹